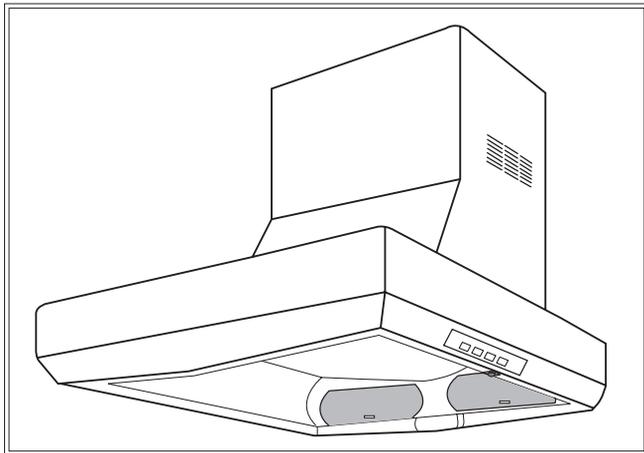


取扱説明書



もくじ

ご使用前に

1. 安全のために
必ずお守りください 1
2. ご使用上のお願い 5
3. 各部のなまえ 6

毎日のご使用に

4. 本体操作スイッチのご使用方法 7
5. リモコンのご使用方法 8

長くご使用いただくために

6. 点検・お手入れ方法 12
7. 故障かなと思ったら 19
8. 製品の標準使用期間について 20
9. 仕様 21
10. 保証とアフターサービス 21
11. 廃棄処分する場合 22

■シリーズ一覧(イラストは右壁取付用)

タイプ	本体色	左壁取付用	右壁取付用
標準	シルバー	STC902WSNML STC903WSNML	STC902WSNMR STC903WSNMR
	ホワイト	STC903WHNML	STC903WHNMR
同時給排気	シルバー	STC902WSDKL STC903WSDKL	STC902WSDKR STC903WSDKR
	ホワイト	STC903WHDKL	STC903WHDKR

このたびは、レンジフード「サイドサイクロンフードシリーズ」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

■この商品を正しくお使いいただくために、ご使用前に、この説明書をよくお読みください。

■この説明書は常にお読みいただけるように、身近に保管してください。

■保証書はシステムキッチン本体のものと兼用です。
レンジフード専用の保証書はございません。

■ご使用されるお客様が変わる場合は、取扱説明書を確実にお渡しください。

■レンジフードは専用調理器具(ガスこまろ・IHクッキングヒーター)と連動運転ができます。
専用調理器具については弊社までお問合せください。

■この商品は、家庭での使用を基準にしたものです。業務用でのご使用は避けてください。

ご使用時は必ずお守りください

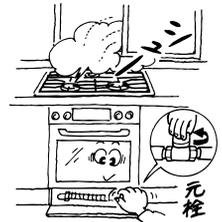
図記号

警告



ガス漏れのとき、レンジフード・リモコンの操作スイッチを入/切しない。

入/切時の火花が引火してガス爆発の原因になります。窓を開けるなどして換気してください。



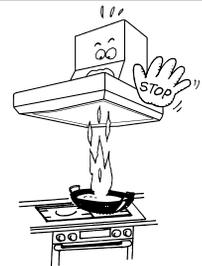
コンロ・オーブン等ガス機器使用時は必ずレンジフードを運転する。

酸欠や一酸化炭素中毒になるおそれがあります。また熱による故障の原因になります。IHクッキングヒーター等、電気コンロ・オーブン使用時も故障対策の為にレンジフードを運転してください。



調理中、油に火がついたときは運転を止める。

火の勢いが強くなるおそれがあります。



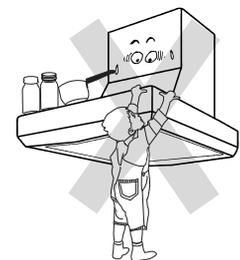
レンジフードに水や洗剤をかけない。

感電のおそれや機器の破損、および、火災の危険性があります。



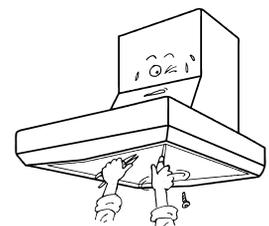
レンジフードの上にものを置いたり、ぶら下がったりしない。

レンジフードが変形したり、上のものやレンジフード自体が落下して、故障やけがをするおそれがあります。



修理技術者以外の人**は絶対に分解・修理・改造**しない。

発火・感電したり、異常動作したりしてけがをするおそれがあります。



1. 安全のために必ずお守りください(つづき)

ご使用時は必ずお守りください(つづき)

図記号

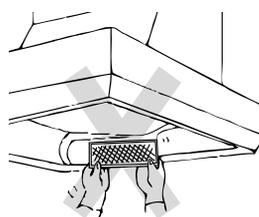
 **注意**



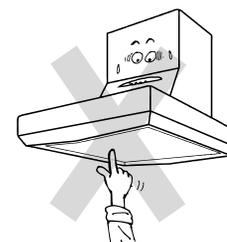
コンロで加熱中は絶対にお手入れをしない。
やけどの原因になります。



市販の使い捨てフィルターなど弊社専用のフィルター以外使用しない。
換気性能の低下や、引火するおそれがあります。



運転中、指や物を絶対に入れない。
けがや故障の原因となります。



訪問販売についての注意

図記号

 **注意**



訪問販売されているフィルターや市販品は、使用しない。
換気性能の低下や、引火するおそれがあります。

※弊社では、フィルター等の取り替えについては、お客様のご依頼によって行なっており、事前連絡なしに訪問販売をすることは一切ありません。

弊社の名前を騙ったり、関連性を強調したりしてフィルター等を販売する訪問販売業者については、弊社とは全く関係ありませんので、十分ご注意ください。

点検・お手入れ時は必ずお守りください

図記号

⚠ 注意



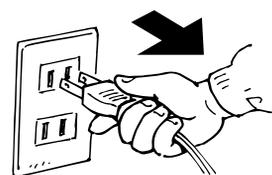
長期間使用しないときは、電源プラグを抜くか、分電盤のブレーカーを切る。

絶縁劣化による感電や火災の原因になります。



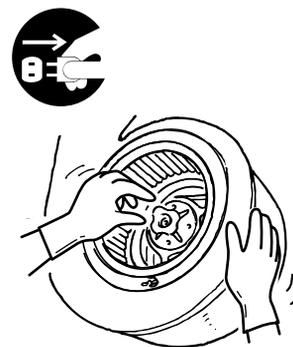
電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く。

断線により感電やショートして発火することがあります。



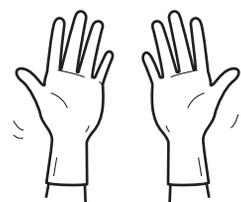
レンジフードを点検・お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る。

掃除中にファンが回ると、けがや感電をするおそれがあります。



お手入れの際は、必ずゴム手袋をする。

端面や角でけがをするおそれがあります。



モーター・電装ボックス等には絶対に水や洗剤・薬品をかけない。

発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります。



2. ご使用上のお願い

ご使用上のお願い

お願い

レンジフード表面が結露した場合は拭き取って使用してください。

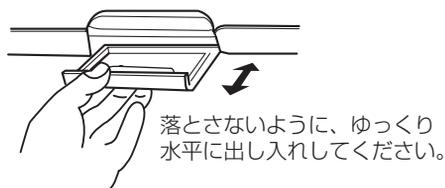
IHクッキングヒーターと合わせて使用する際、キッチンの気温が低いときに使用された場合や大量のお湯を沸かし続けた場合に、レンジフード表面が結露することがあります。

油やレンジフード内部の結露はオイルトレイが一杯になる前に捨ててください。

IHクッキングヒーター使用時、フードがあたたまりにくいため、結露(水滴)が生じることがあります。

内部の結露はオイルトレイにたまりませんが、一杯になるとあふれてこぼれます。

特に冬季など気温の低い状況では、結露水がたまりやすくなります。



ダクトカバーの表面に結露(水滴)が多量に発生する場合は、水滴が垂れる前に拭き取ってください。

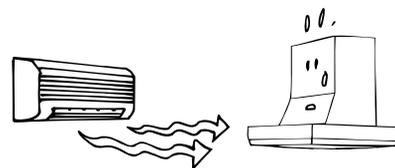
同時給排気タイプの場合、ダクトカバーの給気穴より外気を取り入れることができます。

外気温度が低く、キッチンの湿度が高い場合、ダクトカバーの表面が結露することがあります。

エアコンや扇風機などの風をあてないでください。

風があたると、煙の捕集性能が悪くなります。

特に、IHクッキングヒーターは上昇気流がほとんどないため、オープンな場所では更にレンジフードから煙が漏れやすくなります。



フィルターに市販のフィルターを重ねて使用しないでください。

性能を維持するため、専用のフィルターをご使用ください。

※弊社では事前連絡なしに訪問販売はしておりません。



調理中は給気を行なってください。

レンジフードの反対側の壁に空気の入入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。

空気の入りが不十分ですと換気性能が低下します。

※ただし、風があたると吸い込みが悪くなりますので注意してください。



ご使用上のお願い(つづき)

お願い

調理器具の空焚きは絶対にしないでください。

製品の損傷や高熱による故障の原因となります。

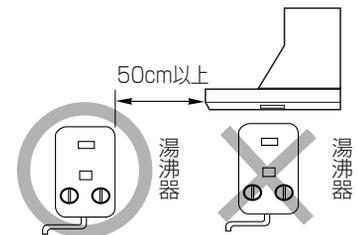


湯沸器はレンジフードから50cm以上離してください。

ガス湯沸器周辺は高温になるので50cm以上離してください。

湯沸器の上部には絶対にレンジフードを取付けないでください。

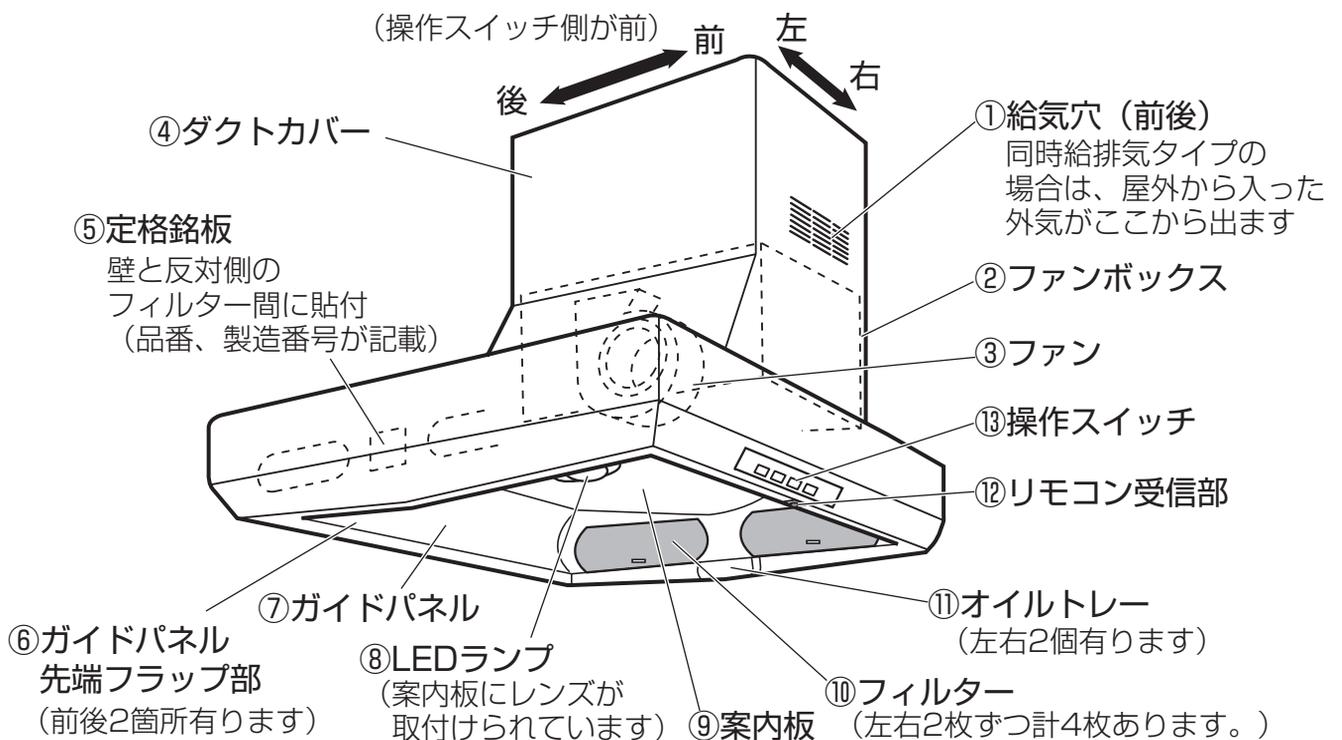
製品の損傷や高熱による故障の原因となります。



3. 各部のなまえ

同時給排気タイプの例

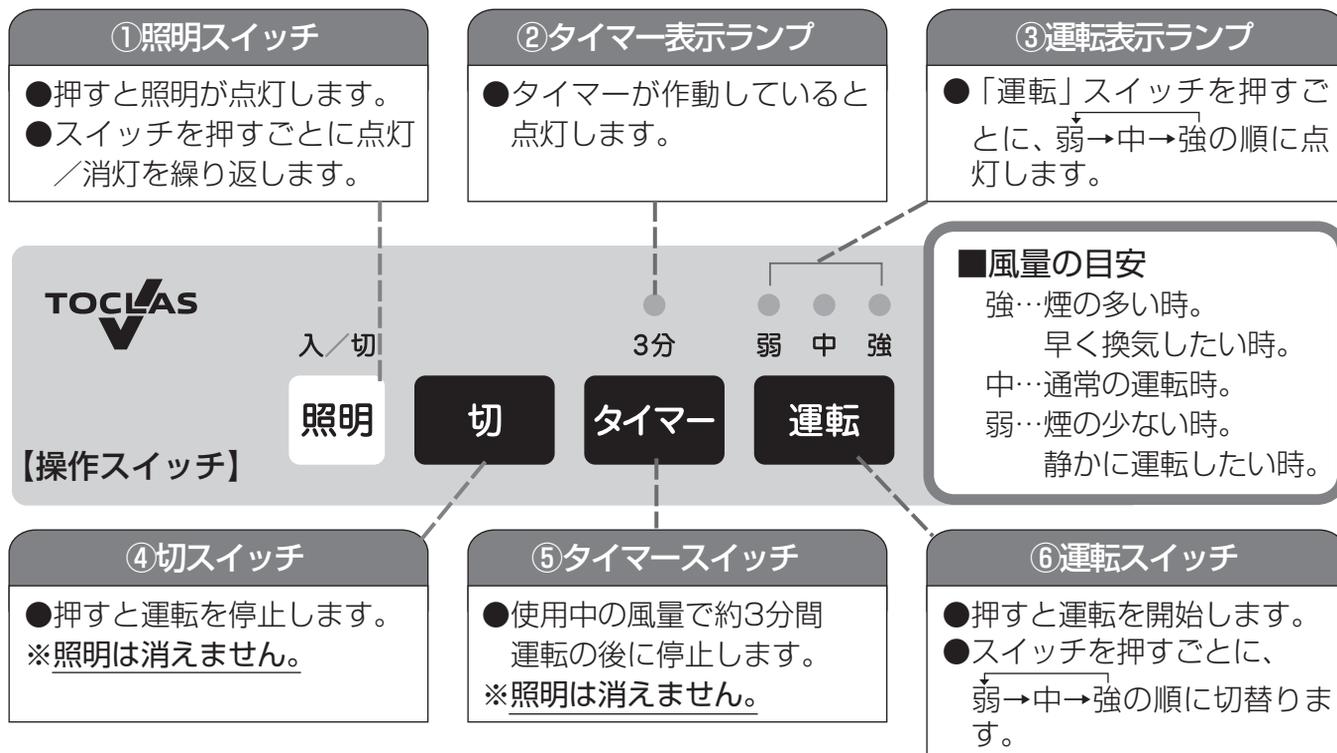
(シリーズにより本体の部品の配置が異なります)



※イラストは右壁取付用モデルを示します。

4. 本体操作スイッチのご使用方法

スイッチ操作のしかた



※同時給排気タイプの場合、フードの換気口にある

「電動開閉式シャッター」が開いてからファンが回る構造となっています。

「運転」スイッチを押してから約4秒してファンが回り始めますが、故障ではありません。

便利な機能

■切り忘れ防止タイマー機能

このレンジフードには切り忘れ防止のため、最後に操作したときから約5時間運転し続けると、自動的に運転停止し消灯する機能があります。再び運転するときは「運転」スイッチを押してください。

■スイッチのロック機能

- 「切」スイッチを約3秒間押し続けると『ピー』音が鳴り、スイッチがロックされます。
ファンは停止し、照明も消灯します。この状態で、「切」以外のスイッチを押しても警告音『ピピッ』が鳴り、ファン・照明は作動しません。(操作機能全てが「切」状態になります)
※リモコンや専用調理器具との連動操作も受け付けません。

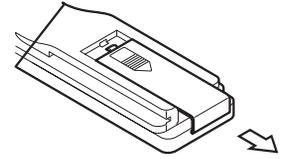
- ロック解除には、もう一度『ピー』と音がするまで「切」スイッチを約3秒間押し続けます。
ロック解除後は、必要に応じて、「照明」、「運転」スイッチを再操作してください。
※停電した場合やブレーカーを切った場合は、ロックが解除されます。

5. リモコンのご使用方法

リモコンで使用前の準備

1. フタを外します。

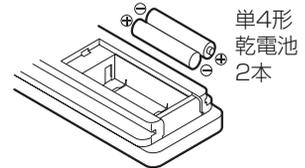
矢印の方向にスライドさせて外す。



2. 乾電池を入れます。

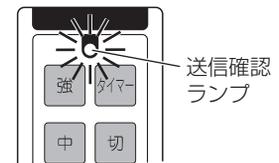
単4形乾電池(2本)の極性に注意して、乾電池を入れ、フタをする。

※取替えの際はアルカリ乾電池のご使用を推奨します。



3. 送信確認をします。

リモコンスイッチを押して「送信確認ランプ」が点灯するか確認する。



リモコン操作のしかた

①送信確認ランプ

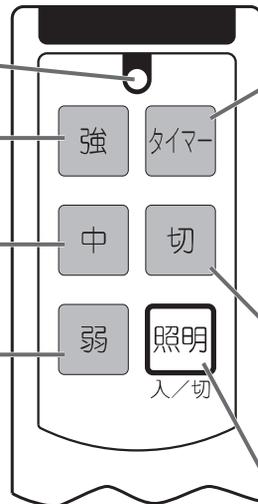
- 各スイッチを押すたびに点灯します。
- フード本体でリモコン受信しにくい場合やランプが点灯しない場合、乾電池を交換します。

②風量スイッチ

- 押すと運転を開始します。
- レンジフード本体の「運転表示ランプ」が点灯します。

■風量の目安

- 強…煙の多い時。早く換気したい時。
- 中…通常の運転時。
- 弱…煙の少ない時。静かに運転したい時。



③タイマースイッチ

- 使用中の風量で約3分間運転が継続し、自動で停止します。
※照明は消えません。
- レンジフード本体の「タイマー表示ランプ」が点灯します。

④切スイッチ

- 押すと運転を停止します。
※照明は消えません。

⑤照明スイッチ

- 押すと照明が点灯します。
- スイッチを押すごとに点灯/消灯を繰り返します。

※リモコンの送受信が完了すると、レンジフード本体側から『ピッ』という確認音が鳴ります。

便利な使い方

■別売リモコン

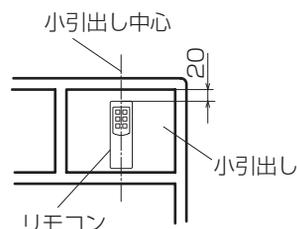
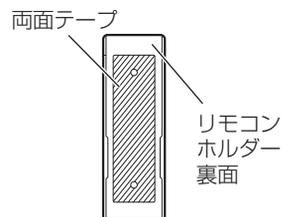
本製品には1個リモコンが付属しています。キッチンとリビング・ダイニング両方でご使用になりたい場合には追加で別売リモコンの購入が可能です。お客様相談窓口にお尋ねください。

5. リモコンのご使用方法(つづき)

リモコンホルダーの取付

■コンロ用キャビネットに小引出しが付いている場合

1. リモコンホルダーを取付ける面(小引出し)をよく拭きます。
油等が付着していると両面テープの粘着力が落ちます。
2. 付属の両面テープをリモコンホルダーの裏面に貼付けます。
※両面テープがよく付くように十分圧着してください。
3. 小引出しの上面から20mmの位置で、小引出しの左右の中心になるよう、リモコンホルダーを取付けます。
※リモコンの送受信・取外しが可能なことを確認の上、取付けてください。
※両面テープがよく付くようにリモコンホルダーを十分圧着してください。



お願い

リモコンホルダーの取付けは、リモコンが取外せることを確認して、行なってください。

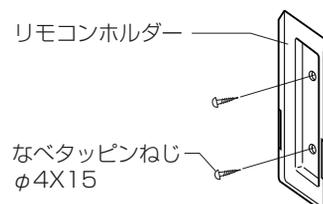
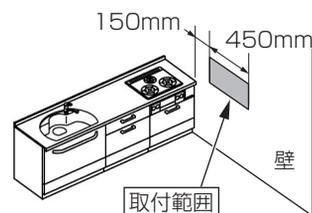
カウンター位置によっては、20mmの位置でもリモコンが取外せない場合があります。

取外せない場合には、「小引出しが付いていない場合」に示す図のように壁面に取付けてください。

4. リモコンをリモコンホルダーに取付けます。

■コンロ用キャビネットに小引出しが付いていない場合

1. コンロから150mm以上離れた平滑な壁で、カウンター高さを目安に下地に棧が入っているところを選びます。
※リモコンの送受信・取外しが可能なことを確認してください。
2. リモコンホルダーを付属の「なベタツピンねじ」2本(φ4x15)で取付けます。
3. リモコンをリモコンホルダーに取付けます。

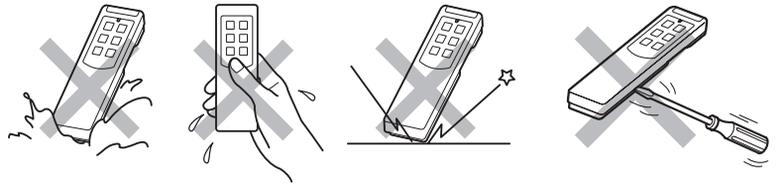


リモコン使用上のお願い

お願い

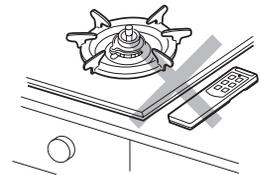
水の中に落としたり、
濡れた手で操作しない。
落としたり、投げたりしない。
分解しないでください。

故障の原因になります。



直射日光の当たる場所、調理器具など
高温になる場所の近くには置かないでください。

故障の原因になります。



リモコンの送受信確認音『ピッ』が聞き取れない場合には、
レンジフード本体側の操作スイッチを使用して運転してください。

リビング・ダイニング側から操作する場合には、操作スイッチの「運転表示ランプ」が確認できません。

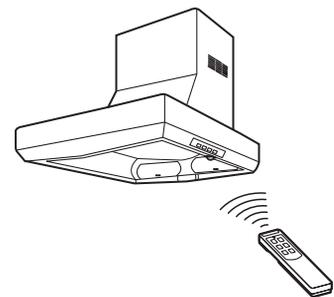
その場合、『ピッ』音で確認するか、キッチン側から操作スイッチを使用してください。

※警告音『ピピッ』の場合には、操作スイッチがロック状態になっています。

レンジフード本体の「運転切」スイッチを3秒以上押し続けてロックを解除してください。

リモコンは、レンジフードの「リモコン受信部」に
向けて操作してください。

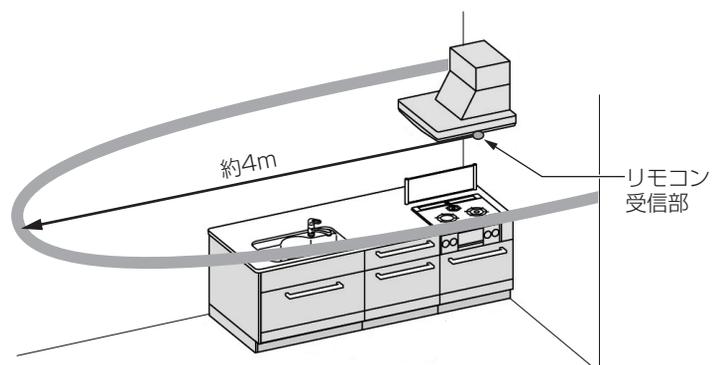
本商品にはホルダーが同梱されていますが、
ご使用の際に、リモコンが受信部に向いていない場合、
動作しないことがあります。



■リモコン操作可能範囲

「リモコン受信部」を中心として
約4mの範囲で操作可能です。

※窓や照明の配置、種類により
操作可能範囲内でも、操作で
きないことがあります。この
ようなときにはリモコンを近
づけて操作してください。



5. リモコンのご使用方法(つづき)

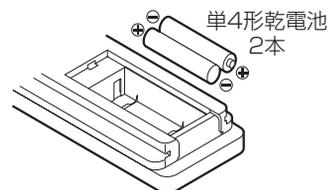
リモコン使用上のお願い(つづき)

お願い

リモコンの「送信確認ランプ」が点灯しない場合や信号が届かなくなったりしたときは、新しい乾電池と交換してください。

交換する乾電池(単4形乾電池を使用します)は、必ず2本とも新しい同じ種類のものをお使いください。

※取替えの際はアルカリ乾電池のご使用を推奨します。



充電式電池は使用しないでください。

操作可能範囲が狭くなることがあります。

長期間使用しない場合は乾電池を取出してください。

乾電池の液漏れが起こり故障することがあります。

レンジフード連動タイプ専用調理器具との組合せ

◎本レンジフードは連動機能付の調理機器(IHクッキングヒーター・ガスコンロ)と連動します。弊社ラインナップ以外の調理機器では連動しませんのでご注意ください。

手や頭で、赤外線信号を遮らないでください。

専用調理器具からレンジフードへ向けて赤外線信号を送信しています(直接または反射を利用しています)。

お願い

手や頭で赤外線が遮られると、レンジフードで信号が受信できません。専用調理器具とレンジフードの間を遮らない位置で操作をお願いします。

※専用調理器具によっては、複数回送信しています。

便利な機能

■自動換気機能

専用調理器具を着火(運転)すると、自動的にレンジフードは「中」運転を行ないます。この運転中も風量切り替え、停止、照明の点灯・消灯を行なうことができます。

■自動換気停止機能

専用調理器具を消火(停止)した時、レンジフードは使用中の風量で約3分間運転し停止します。
※照明は自動消灯しません。

■調理器具からのレンジフード操作機能

専用調理器具の操作パネルでもレンジフードの運転、停止、照明点灯/消灯などが行なえます。詳細については専用調理器具の取扱説明書をご覧ください。

6. 点検・お手入れ方法

点検・お手入れにあたって

◎このレンジフードは、フィルターから内部に入った油はオイルトレイにたまる構造となっています。オイルトレイとフィルターを定期的にお手入れして頂ければ、案内板を外しての内部のお手入れは不要です。

※内部に油は付着しますが運転に支障はありません。

◎リモコンのお手入れは、「リモコンのお手入れ」(18ページ)をご覧ください。

お願い

有機溶剤は使用しない。また、酸・アルカリ性の洗剤は使用しないでください。

レンジフード・リモコンが変色・変質します。

●有機溶剤

シンナー、ガソリン、アルコール、アセトンなど。

●酸・アルカリ性の洗剤

トイレ・タイル用洗剤、サビ・カビ取り剤など。



お手入れは指定のお手入れ方法に従い実施してください。

レンジフード・リモコンが傷み、故障の原因になります。

※お手入れ方法は12~18ページをご覧ください。

ブラシや磨き粉、重曹等は使用しないでください。

レンジフード・リモコン表面にキズをつけます。

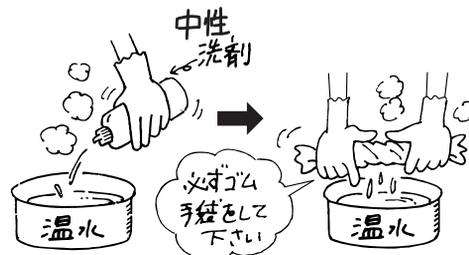
点検・お手入れ後は、フィルター・オイルトレイが確実に取付けられていることを確かめてください。

取付けが不十分ですと、部品が外れて危険です。

レンジフード本体のお手入れ(外観部)

◎本体外観部に油の付着、汚れ等があった場合にお手入れしてください。

1. “中性洗剤”を使用し柔らかい布で拭きます。
2. 必ず乾拭きをし、完全に乾燥させてから使用します。



6. 点検・お手入れ方法(つづき)

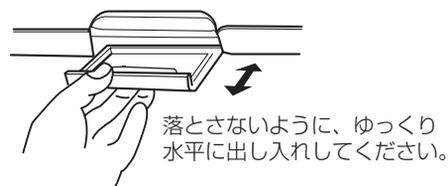
オイルトレイのお手入れ

◎月1回程度、オイルトレイを確認してください。

※オイルトレイの半分位に油が溜まるまでに洗浄してください。

調理に使った油量によっては、半年以上油がたまらない場合もあります。

1. オイルトレイをゆっくり、水平に引き出します。



お願い

オイルトレイ取付け部から落下する油を受けるようにします。

オイルトレイを外している間に本体から油が落ちるおそれがあります。

2. 油を捨てた後、付着している油は柔らかい布やスポンジで拭きます。

※汚れが取れない場合は、薄めた“中性洗剤”で洗ってください。

3. オイルトレイを本体に戻します。

お願い

台所用洗剤(“中性洗剤”)以外は使用しないでください。

オイルトレイが変色・変質します。

硬いブラシ等は使用しないでください。

オイルトレイ表面にキズをつけます。

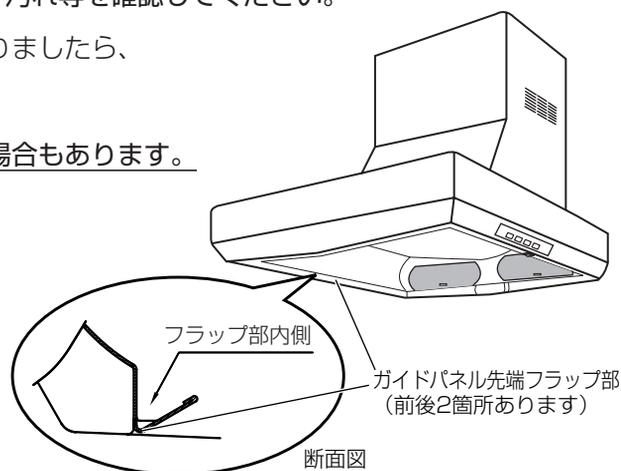
ガイドパネル先端フラップ部のお手入れ

◎月1回程度、ガイドパネル先端フラップ部内側の油の付着・汚れ等を確認してください。

ガイドパネル先端フラップ部内側に油の付着・汚れ等がありましたら、

あふれて滴下する前に柔らかい布で拭きとってください。

※調理に使った油量によっては、半年以上油がたまらない場合もあります。



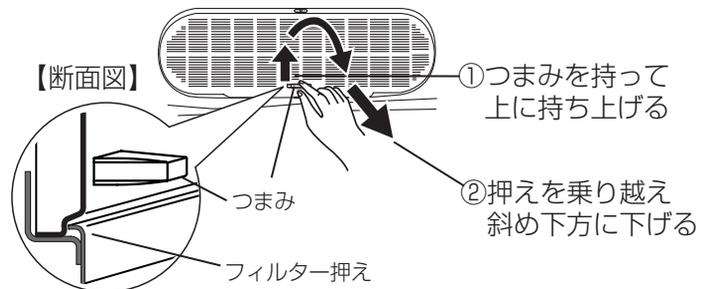
フィルターのお手入れ

◎フィルターに油が付きはじめたら、掃除してください。

月2回程度の掃除が清潔を保ちます。

1. フィルターを取外します。

- ①フィルター下部のつまみを持って、上に持ち上げます。
- ②フィルター押えの上までフィルターを持ち上げ、取外します。



2. ボールなどに市販の“中性洗剤”

を薄めたぬるま湯(40℃程度)を用意します。

ボールはフィルターが平らに置けるサイズにします。

3. フィルターを30分浸します。

浸し始めて15分したら、裏返します。

4. 浸したまま、平らな状態で歯ブラシ等を使ってこすります。

平らでない場合、フィルターが変形する恐れがあります。

※硬いブラシ等でこすると、キズがつくので使用しないでください。



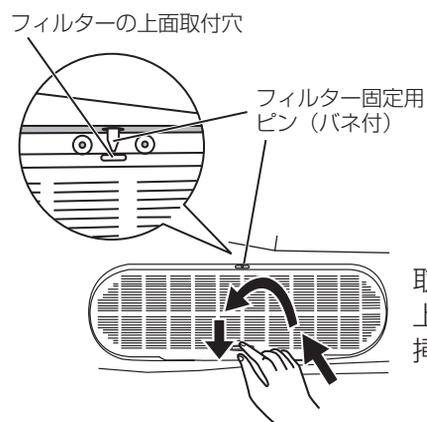
5. スポンジを使用して、水洗いします。

もし汚れ落ちが不十分な場合は、もう一度最初からやり直してください。

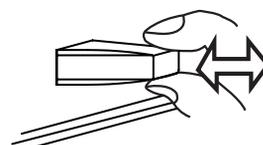
6. 完全に乾燥させます。

7. フィルターを取付けます。

フィルターの上面の穴を上方のフィルター固定用ピンにはまるよう合わせて上へ持ち上げてから、下部をフィルター押えの奥にはめこみ取付けます。



8. つまみを引っ張り、フィルターが外れてこないことを確認します。



フィルター取付け後は固定を確認

6. 点検・お手入れ方法(つづき)

フィルターお手入れ上のご注意

図記号



注意



調理機器を消火(停止)し、レンジフードを停止してフィルターのお手入れをする。

やけどやけがのおそがあります。



フィルターの取り外し、取り付け時は手順を守る。

フィルターが落下して、けがをするおそがあります。



必ずゴム手袋をする。

フィルターの端部・突部で手を切るおそがあります。



フィルターを食器洗い乾燥機で洗わない。

フィルターの塗装を傷めるおそがあります。



訪問販売されているフィルターや市販品は、使用しない。

換気性能の低下や、引火するおそがあります。

レンジフード内部の点検・お手入れ上のご注意

◎このレンジフードは、ファンがひどく汚れて排気性能が低下した時以外は、案内板を外しての内部のお手入れは不要です。

図記号



注意



レンジフードを点検・お手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切る。

掃除中にファンが回ると、けがや感電をするおそがあります。



取付けは各部品にガタツキがないよう確実に取付ける。

レンジフード内部の点検・お手入れのしかた

以下、内部の点検・お手入れを行なう場合の手順を説明します。

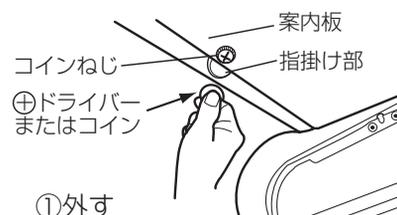
1. フィルターをすべて取外します。

「フィルターのお手入れ」をご覧ください。

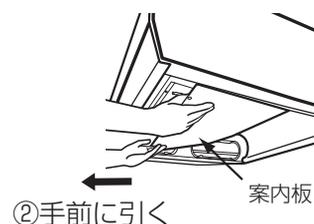
2. 案内板を取外します。

①案内板手前のコインねじ2箇所を外します。

※ねじを外す時案内板とねじが落ちないように手で支えてください。



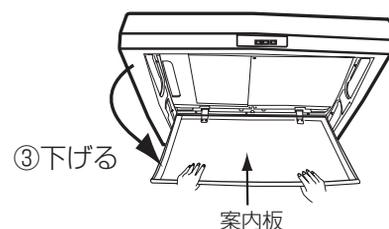
②案内板の手前を持って水平のまま手前側に少し移動します。



③ゆっくりと案内板手前を下方へ下ろします。

※案内板手前が下りて来ない時は、指掛け部に指を掛けて引き下ろしてください。

④案内板を両手で持ち、後方2箇所のフックを片側ずつ本体の角穴から外します。



3. 内部の点検をします。

ファンや内部の汚れを確認します。

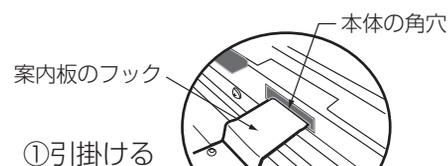
4. 案内板を取付けます。

①案内板後方2箇所のフックを片側ずつ本体の角穴に引掛けます。

②案内板を押し込みながら上へ回転させます。

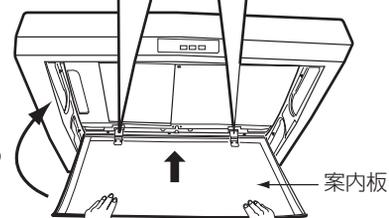
③水平にしてからさらに押し込みます。

④ねじ穴と案内板の穴が合っていることを確認し、コインねじでしっかり締付けます。



②押し込みながら
回転させる

③水平にして
押し込む



5. フィルターを取付けます。

※「運転切」スイッチを3秒以上押して「ロック解除」
（「ピー」音でロック解除）するか、電源プラグまたは
分電盤のブレーカーを入れてから運転を確認してく
ださい。

6. 点検・お手入れ方法(つづき)

ファン・ケーシングお手入れ上のご注意

図記号

! 注意



ファンが回転中には、絶対に内部に顔や手を入れない。
回転するファンでけがをします。



必ずゴム手袋をする。
ファンやケーシングの端部・突部で手を切るおそれがあります。

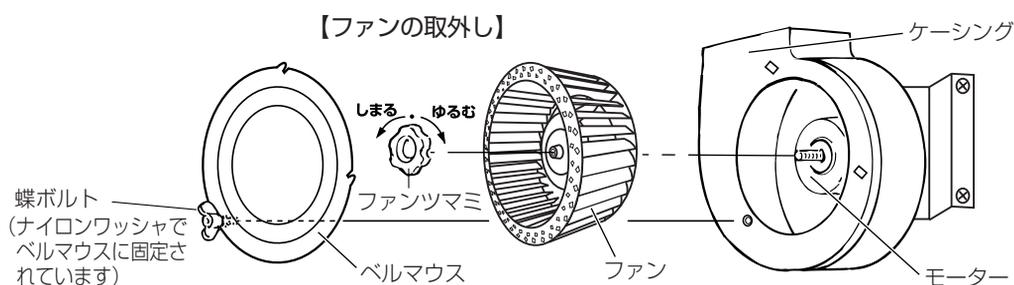


モーターに直接、洗剤・水をかけない。
故障の原因となります。

ファン・ケーシングのお手入れ

◎汚れのひどい時は次の要領で掃除してください。

■ファンの取外し



1. フィルター・案内板を取外します。

「レンジフード内部の点検・お手入れのしかた」をご覧ください。

2. ベルマウスを取外します。

蝶ボルトをゆるめてベルマウスを取外します。

3. ファンを取外します。

ファンツマミを「ゆるむ」方向に回転させファンを外します。

4. お手入れします。

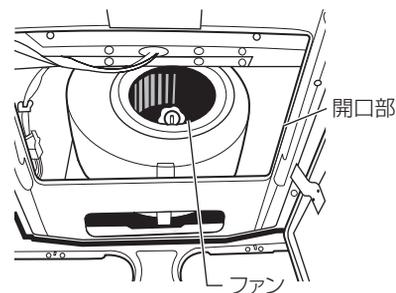
①市販の「中性洗剤」を入れたぬるま湯(40℃程度)にファンを20～30分浸します。

②スポンジやタオルでこすって汚れを落とします。

③ケーシングの内部もスポンジやタオルでこすって汚れを落とします。

※ファンはあまり力強くこすらないでください。

変形すると、排気性能が低下したり、運転中異音が出ることがあります。



※ファン取外し・取付けは
上図の開口部から行なってください。

6. 点検・お手入れ方法(つづき)

ファン・ケーシングのお手入れ(つづき)

■ファンの取付け

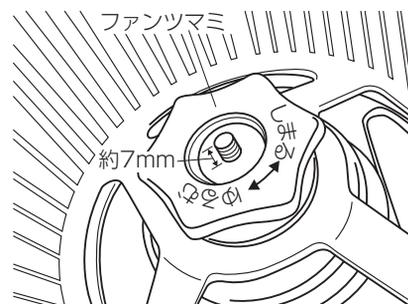
1. ファンを取付けます。

外した時の逆の手順でモーターにファンをはめます。

ファンツマミを「しめる」方向に回転させ、しっかり取付けます。

※ファンツマミを閉めるとモーターの軸は約7mm出ます。

出が少ない場合はもう一度しっかりファンを差し直してください。



【正規位置でファンツマミを締め込んだ状態】

2. ベルマウスを取付けます。

ベルマウスをはめ、蝶ボルトで固定します。

3. 案内板、フィルターを取付けます。

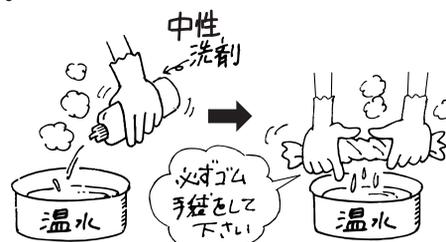
「レンジフード内部の点検・お手入れのしかた」をご覧ください。

リモコンのお手入れ(外観部)

◎リモコン外観部に油の付着、汚れ等があった場合にお手入れしてください。

1. めるま湯で「中性洗剤」を薄めた温水に、柔らかい布を浸し、かたくしぼって汚れを拭き取ります。

2. 必ず乾拭きをし、完全に乾燥させてから使用します。



お願い

有機溶剤は使用しない。また、酸・アルカリ性の洗剤は使用しないでください。

リモコンが変色・変質します。

●有機溶剤

シンナー、ガソリン、アルコール、アセトンなど。

●酸・アルカリ性の洗剤

トイレ・タイル用洗剤、サビ・カビ取り剤など。



ブラシや磨き粉は使用しないでください。

リモコン表面にキズをつけます。

7. 故障かなと思ったら

◎商品に異常が生じたときは次の点をお調べになってから、お買い上げの販売店、または、裏表紙のお客様相談窓口にご相談ください。異常は、故障とは限りません。

症状 / 現象	原因	対処方法
●操作スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。	分電盤のブレーカーが「切」になっている。	分電盤のブレーカーを「入」にする。
	操作スイッチがロック状態になっている。	レンジフード本体の「切」スイッチを3秒以上押し続けてロックを解除する。
●ファンが回らない。	電源プラグが外れている。	電源プラグを入れる。
●照明がつかない。	LEDランプが切れている。	LEDランプ交換を販売店へ依頼する。
●異常音がする。	ファンのツマミが緩んでいる。	ファンのツマミを締め直す。
	ベルマウスの固定ねじが緩んでいる。	ベルマウスの固定ねじを締め直す。
	フィルターが汚れている。	フィルターを掃除する。
	給気が十分でない。	十分な給気を確保する。
●吸い込みが悪い。	フィルターが汚れている。	フィルターを掃除する。
	給気が不足している。	十分な給気を確保する。
	エアコンや窓からの風があたっている。	風があたらないようにする。
●リモコンスイッチを操作しても動作しない。	電池が減っている。	電池を交換する。
	電池の向きが間違っている。	電池を正しく入れる。
	リモコンの送信部や本体操作スイッチの「リモコン受信部」が油で汚れている。	送信部・受信部を掃除する。
	操作スイッチがロック状態になっている。 (ロック状態ではリモコンスイッチを押すと「ピピッ」という音がします。)	レンジフード本体の「切」スイッチを3秒以上押し続けてロックを解除する。
●調理器具と連動しない。 (別売レンジフード連動タイプ専用調理器具を使用した場合)	調理器具の電池が減っている。	電池を交換する。
	調理器具の送信部や本体操作スイッチの「リモコン受信部」が油で汚れている。	送信部、受信部を掃除する。
	操作スイッチがロック状態になっている。 (ロック状態では調理器具を着火(運転)した時「ピピッ」という音がします。)	レンジフード本体の「切」スイッチを3秒以上押し続けてロックを解除する。
	調理器具が送信する赤外線信号が本体操作スイッチの受信部に届いていない。	鍋、釜、手、頭等で赤外線信号を遮らないようにする。また、赤外線信号が人体に反射し、受信部で受信出来る位置に立って操作する。

8. 製品の標準使用期間について

◎本製品は、設計上の標準使用期間を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがございます。

※設計上の標準使用期間とは、

標準的な使用条件(下記の【設計上の標準使用期間の算定の根拠】参照)の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行なわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品毎に設定されるものです(消費生活用製品安全法第32条の3)。

メーカー無償保証期間とは異なるものですのでご注意ください。

【設計上の標準使用期間の算定の根拠】

本製品の設計上の標準使用期間は、製造年を始期とし、以下の標準的な使用条件を想定して、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値等に基づき、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設計上の標準使用期間を設定しております。

【標準的な使用条件】 ※日本工業規格JISC9921-2より引用

大項目	中項目	小項目
環境条件	電圧	100V
	周波数	50Hz/60Hz
	温度	20℃
	湿度	相対湿度65%
	設置条件	標準設置(取付設置説明書による)
負荷条件		定格負荷
想定時間	1年の使用時間	2,410時間/年

【ご注意ください】

- 本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでお使い頂いた場合においては、設計上の標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されます。
- 製品を目的以外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、上記の標準的な使用条件と異なる環境で使用された場合も設計上の標準使用期間の到来前に経年劣化による重大事故発生のおそれが高まることが予想されますが、このようなご使用は、お控えいただくようお願いいたします。

9. 仕様

定格電圧 (V)	運転風量	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量(m ³ /h)		騒音 (dB)
				0Pa	100Pa	
100	強	50	98	515	430	42
		60	112	510	430	42
	中	50	55	320	—	33
		60	58	300	—	33
	弱	50	36	220	—	27
		60	36	215	—	27

※消費電力、風量、騒音の測定はJISC9603による。

※レンジフードに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

10. 保証とアフターサービス

保証

このレンジフードの保証内容は、保証書を含め、システムキッチンの取扱説明書巻末に記載のものと兼用です。保証期間中(お引渡し日より1年)は、保証の規定に従い修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、このレンジフードの機能を維持するために必要な補修用性能部品を、製造打ち切り後7年間保有しております。販売店からの注文により、供給いたします。

※性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理の際のご連絡先

この取扱説明書をよくお読みの上再度点検していただき、なお異常があるときには、お買い上げの販売店または、裏表紙に記載の修理のご相談窓口までご連絡ください。

修理依頼の際に、ご連絡いただきたい内容

- ご住所 ■お名前 ■電話番号 ■商品名(レンジフード) ■品番(→6ページ) ■お引渡し日
- 故障内容 (何の、どこが、どのようになったか)
- 訪問ご希望日 (ご都合の悪い日もあわせてご連絡ください)

11. 廃棄処分する場合

- ◎廃棄処分する場合には、許可を受けた業者様にご依頼いただき、適切な廃棄処分、および、リサイクル可能な部材のリサイクルをお願いいたします。
- ◎廃棄部材の不法投棄等ありました場合は、廃棄依頼者が法律違反で罰せられます。

お客様相談窓口



商品についてのご相談



0120-808-194

●受付時間/月～金 9:00～17:30 (祝日、夏期休業・年末年始を除く)



修理のご相談



0120-119-555

●受付時間/月～金 9:00～17:30 土・日・祝日 9:00～17:00
(夏期休業・年末年始を除く)

お電話は、内容確認およびサービスの向上等を目的として、保存(録音)させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針の詳細は、当社ホームページをご覧ください。

トクラス株式会社
〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町1370

1404 TATORISESTC2